



# 臨床腫瘍センターだより



## 『がん薬物療法』研修報告

第11号(2009年3月10日)

～多職種チームを対象とするがん薬物療法研修～

日時:平成21年2月17日(火)～18日(水)、場所:東北大学病院

参加者:呼吸器内科 渡邊香奈、薬剤部 星 政弘、看護部 添田友美



この研修では、薬剤部と化学療法センターの見学、薬剤師の役割、化学療法センター看護業務、プロトコール審査についてなどの講義を受け、プロトコール審査委員会模擬体験実習を行ってきました。

その中の薬剤師・看護師との業務ミーティングでは、当日の投与状況(アレルギーや血管外漏出)、薬剤情報、翌日の患者情報・疑義照会・処方変更依頼の把握、初回治療、アレルギー歴の把握など、情報の共有化がされ、安全・確実な治療ができるよう投与管理がなされていました。薬剤師・看護師合同勉強会の開催や、安全管理部と合同でのアナフィラキシー対応シミュレーションを行い、リスクの共有や予防・対処についての研修など、多職種がチームとして関わり、チーム医療が充実していることが印象的でした。

化学療法センターには専任看護師が8名配置され、看護体制は2チーム制を取り、リーダーとフロア係に分け、業務分担と患者把握がなされていました。抗がん剤投与時は、複数の看護師が定時観察を行い、輸液ポンプの使用や自然滴下監視装置を用いるなど、安全性や確実性を高める工夫を感じました。

今後は、研修で学んだことを活かして、薬剤師と協同で治療別パンフレットの作成、勉強会の開催やアナフィラキシーの早期発見と対処、血管外漏出の予防と対処など、マニュアルの改訂をしていきたいと思えます。そして各診療科や病棟と情報を共有して多職種と連携を図りながら、安全・確実な治療、安心・安楽な治療時間が提供できるよう院内の体制作りを改善してゆきたいと考えます。

(外来化学療法センター 看護師 添田友美)



### 外来化学療法センター当番の先生へのお願い

#### ◆「電子カルテ」記載について◆



外来化学療法センターは複数の診療科の先生方に当番制で点滴をお願いしています。最近、電子カルテの記録方法について若干混乱がありましたので、下記の点にご注意ください。

#### 1. プロトコールで化学療法が施行された場合(電子カルテの注射→外来化学療法→外来化学療法を用いてオーダーされたもの)

当番の医師が予定患者の治療を行ったことを『腫瘍センターのプログレスノート』にフリーコメントとして記録してください。<例>外来化学療法センターで治療施行、又は本日は血管痛なく点滴ができた等、内容は自由です。

#### 2. プロトコール登録前の様式での外来注射で化学療法が施行された場合(電子カルテの注射→予定→予定外来注射でオーダーされたもの)

臨床腫瘍センター(患者さんの所属診療科ではありません)でカルテを開き外来業務の外来注射から実施入力画面を使って下さい。その他のコメントは不要ですが、気付いた点があればプログレスノートに記載してください。



実際に電子カルテを使用する場合、ご不明な点があれば外来化学療法センターの看護師がお手伝いいたします。お手数をおかけしますが宜しくお願いいたします。

#### <2月の外来化学療法センター利用状況>

利用者数 217名  
(単位: 名)

消化器外科 I	38	消化器内科	17
消化器外科 II	15	婦人科	22
乳腺外科	56	泌尿器科	3
呼吸器科	31	血液内科	1
呼吸器外科	2	小児科	30
皮膚科	2	合計	217



#### Cancer Board開催案内

消化器 3/12(木) 19時30分  
悪性リンパ腫 3/25(水) 19時30分  
Pediatric Tumor Board  
4/9(木) 19時

医療従事者を対象に、各臓器別に診療科横断腫瘍カンファランスを定期的で開催しております。医療従事者であればどなたでも出席できます。



#### お知らせ

#### 臨床腫瘍セミナー開催案内

演題: 「がん臨床試験の特徴と生物統計学」  
講師: 東京大学医学系研究科 公共健康医学専攻 生物統計学  
教授 大橋 靖雄 先生  
日時: 2009/3/17(火) 18時～19時  
場所: 第二臨床講義室  
※大学院生は共通必修科目(規程の8)に該当します。

#### 緩和ケア学習会

テーマ: 「医療相談員からみた在宅医療支援診療所の役割」  
日時: 2009/3/10(火) 18時～19時  
場所: カンファランス2